令和4年度　新宿区
大学との連携による商店街支援事業
報告書

若原共栄会活性化
支援事業

宝塚大学

現状の課題と考えたもの

- 住宅街が多く、人通りはそこまで多くない。
- 車通りはあるが日が落ちると暗い印象。
- 目を引く建造物などもあるが、他に隠れたり暗くなったりすると目立たなくなってしまう。
- 近年移住してきた人たちと生活の慣習が異なるため、商店街内の取り組みを知って頂いたり、情報を発信する新しい手段を作ることが必要。

R4年度　主な活動

- 11月下旬　現地フィールドワーク実施
- 12月上旬　リサーチを元に地域活性企画案作成
- 3月　5月実施「こどもげんき広場」
  ポスターデザイン

5/20（土）こどもげんき広場
広報ポスターの作成

R5年度　5月20日（土）に予定されていた
商店街地域のお祭りポスターデザインを担当

若い夫婦や小さな子供にも興味を持ってもらえるよう、親しみやすいデザインやモチーフの使用を意識しました

学生からの地域活性化企画案

R5年度　活動計画

-上半期-

- 5月「こどもげんき広場」にて缶バッジワークショップ
- 6月　現地フィールドワーク
- 7月「若原共栄会オリジナルキャラクター
  デザイン企画」開始

9月実施「ふれあい広場」ポスターデザイン

インスタグラムでの情報発信試験開始

地域活性企画案についての学内協議

⇒実践への調整

R5年度　活動計画

-下半期-

- SNS運用
- 継続的なフィールドワーク
- 商店街案内MAPの作成
- 次年度用商店街及び「こどもげんき広場」
  広報ポスターの作成